

27年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 数学

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を重んじ、集中力が継続できるよう、一人一人が参加できる授業を展開していく。 ・授業に対する意欲、授業中の発言、ノート書き方など基本的学習の定着を図る。 ・基礎計算に重点を置くと共に、小学校とのアプローチの違いを確認していく。 ・応用問題に対して、考える時間を確保し、適切なヒントを用意し、多くの解法を見つけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリントで単元終了後に問題演習を行い、基礎・基本の定着を図る。 ・個々に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べられる機会を多く設けていく。 ・個々に指導が必要な生徒が増えてきているので、机間指導を行う場面を増やしたり、教え合う学習が出来る場面を確保していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に学習教室を開き基本の復習を行い、既習事項の理解を徹底する。 ・特に定期考査前など、質問教室を設け、授業の補充を出来るようにする。 ・出来るだけ多くの考え方を取り上げて、柔軟な発想が出来るようにしていく。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を重んじ、集中力が継続できるよう、一人一人が参加できる授業を展開していく。 ・基礎計算に重点を置き、各単元において、基本を徹底していくことを確認させる。 ・応用問題に対して、考える時間を確保し、適切なヒントを用意し、多くの解法を見つけさせる。 ・学習内容自体に興味を持たせ、成就感が味わえる授業を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集、プリントを多く活用することにより、演習量を多くし基礎・基本の定着を図る。 ・柔軟で幅広い考え方ができるように、多方向からの解き方を大切に扱う。 ・個々の理解度に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べられる機会を多く設けていく。 ・個々に指導が必要な生徒については、机間指導を行う場面を増やしたり、班学習などにより、教え合う学習が出来る場面を確保していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ多くの考え方を取り上げて、柔軟な発想が出来るようにしていく。 ・特に定期考査前など、質問教室を設け、授業の補充を出来るようにする。 ・夏季休業中に、学習教室を開き、基礎基本の定着を図る
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する意欲、授業中の発言、ノート書き方、家庭での予習復習など、基本的学習の習慣を定着させる。 ・既習事項を生かし、いろいろな解き方があることを確認する。 ・応用問題に対して、考えさせる時間を確保し、適切なヒントを用意し、多くの解法を見つけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に指導が必要な生徒が増えてきているので、机間指導を行う場面を増やし、改善していく。 ・プリント学習を進める中で、演習量を多くし基礎基本の定着を図り、学習意欲の向上につなげる。 ・教え合い学習を通して、自分の学習定着度の確認と全体の基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に、学習教室を開き、基礎基本の定着を図る。 ・昼休みや放課後に、質問教室を設けて授業の補充をできるようにする。 ・できるだけ多くの考え方を取り上げて、柔軟な発想が出来るようにする。